GARMIN



APPROACH G82

操作マニュアル

Rev. A

© 2026 Garmin Ltd. or its subsidiaries

目次

はじめに 1

デバイス概要 1

ホーム画面 1

使用開始にあたって 1

デバイスの電源をオン / オフする 2

タッチスクリーンをロック / ロック解除する 2

ラウンドを開始する 3

ホール情報ページ 3

数字を大きく表示する（ビッグナンバーモード） 4

ホールを変更する 4

ラウンドオプション 4

グリーン上のピンの位置を変更する 5

タッチターゲッティングで距離を計測する（3 点間距離計測） 5

PlaysLike 距離を確認する 6

ピンの方向を確認する 6

風向 / 風速 6

ショットを計測する 7

カスタムターゲットを保存する 7

カスタムターゲットを削除する 7

バーチャルキャディ 8

トーナメントモードをオンにする 8

スコアを記録する 8

スコアカード画面の見かた 9

スコア記録方法を設定する 9

ハンディキャップを設定する 10

ラウンド概要記録を有効にする 10

履歴 10

ラウンドを中断 / 終了する 10

スイング計測機能 11

「ドライビングレンジ」でトレーニングする 11

テンポトレーニング 13

ターゲット練習 14

「パッティングトレーニング」を使用する 14

パッティングの概要ページ 16

「クラブマッピング」でクラブ別データを記録する 16

スイング計測機能の設定項目 18

転がり距離の補正値を設定する 18

ワイヤレス接続 19

スマートフォンとペアリングする 19

Garmin Golf アプリ 19

コースマップの自動更新 19

ゴルフクラブのリストをカスタマイズする . 19

ペアリング済みのスマートフォンと接続する 20

スマートフォンとの Bluetooth 接続をオフにする 20

Wi-Fi ネットワークに接続する 20

クラブトラッキングセンサー 20

クラブトラッキングセンサーとペアリングする 20

レーザー距離計とペアリングする 21

設定 22

スコア設定 22

PlaysLike 設定 23

システム設定 23

スマートフォン接続設定 23

バックライト設定 23

表示単位を変更する 23

デバイスのパスコードを設定する 24

デバイス情報 25

マグネットクリップを使用する 25

デバイスを充電する 26

お取り扱い上の注意事項 27

デバイスのクリーニング方法 27

USB ポートのクリーニング方法 27

長期間の保管 27

バックライトを使用する 27

仕様 28

電子ラベルの規制および準拠情報を確認する 28

製品のアップデート 28

Garmin Golf アプリでソフトウェアをアップデートする 28

デバイスを PC に接続する 28

Garmin Express をセットアップする 29

Garmin Express でソフトウェアをアップデートする 29

デバイスに関するその他の情報 29

トラブルシューティング 30

現在地に近いゴルフコースが表示されません 30

デバイスとスマートフォンが接続できません 30

日本語で表示されません 30

単位が正しくありません 30

デバイスを再起動する 30

設定をリセットする 30

衛星信号を受信する 31
GPS 衛星受信を向上する 31
デモモードを終了する 31
商標について 32

はじめに

⚠警告

本製品を安全にご使用いただくために、同梱の「安全および製品に関する警告と注意事項」に記載される内容を必ずお読みください。

デバイス概要



①	電源ボタン	**押す**：電源オン **ラウンド中に押す**：画面のロック / ロック解除 **長押し**：電源オフ
②	レーダーボタン	**押す**：レーダーのオン / オフ（*11 ページ　スイング計測機能*）
③	タッチスクリーン	**スワイプ**：メニュー / オプション / 設定のスクロール（*1 ページ　ホーム画面*） **タップ**：項目を選択
④	USB ポート（防水カバー付）	デバイスの充電または PC とのデータ通信時は、防水カバーを開いて USB ケーブルを接続します。（*26 ページ　デバイスを充電する* ） 使用後は防水カバーを閉じてください。（*27 ページ　USB ポートのクリーニング方法*）
⑤	マグネット	デバイスの背面をマグネットクリップやゴルフカートの金属面に合わせて固定できます。（*25 ページ　マグネットクリップを使用する*）

ホーム画面

ホーム画面から各機能へすばやくアクセスできます。

	レーダーを使用してスイング計測を開始します。（*11 ページ　スイング計測機能*）
	近隣のゴルフコースを検索してラウンドを開始します。（*3 ページ　ラウンドを開始する*）
	ゴルフやシステムの設定変更、レーザー距離計や Wi-Fi® ネットワークとの接続設定ができます。（*22 ページ　設定*）

使用開始にあたって

デバイスを初めてご使用になるときは、次の手順でデバイスのセットアップを行います。

1. を押してデバイスの電源を入れます。（*1 ページ　デバイス概要*）
2. タッチスクリーンを**タップ**してデバイスの表示言語を選択し、デバイスに表示されるメッセージに回答していきます。
3. スマートフォンとペアリングします。（*19 ページ　スマートフォンとペアリングする*）
   ペアリングすると、スコアカードの同期、コース情報更新、Garmin Golf アプリのライブスコアリング、およびソフトウェアアップデートなどの機能が利用できるようになります。
4. 必要な場合は、デバイスのセキュリティ強化のためのパスコードを設定します。（*24 ページ　デバイスのパ*

スコードを設定する）

5 ソフトウェア更新と地図の更新を確認します。（*19 ページ　Garmin Golf アプリ*）

デバイスを快適にご使用いただくために、デバイスのソフトウェアは常に最新の状態にしてください。ソフトウェアを更新することで、プライバシーやセキュリティ、その他さまざまな機能の修正や改善が反映されます。

6 デバイスを充電します。ラウンド前に十分に充電してからご使用ください。（*26 ページ　デバイスを充電する*）

デバイスの電源をオン / オフする

初めてデバイスの電源をオンにしたときは、デバイスで使用する言語、単位、ドライバー飛距離の設定を求めるメッセージが表示されます。

電源ボタンを押します。

注意：デバイスの電源をオフにするには、電源ボタンを長押し＞**[はい]** を選択します。

タッチスクリーンをロック / ロック解除する

タッチスクリーンの誤操作を防ぐために、タッチスクリーンをロックできます。

1 電源ボタンを押します。

2 電源ボタンを再度押すと、タッチスクリーンのロックが解除されます。

ラウンドを開始する

衛星信号の受信を完了してからラウンドを開始してください。受信が完了するまで 30 ～ 60 秒ほどかかります。

1. を選択します。

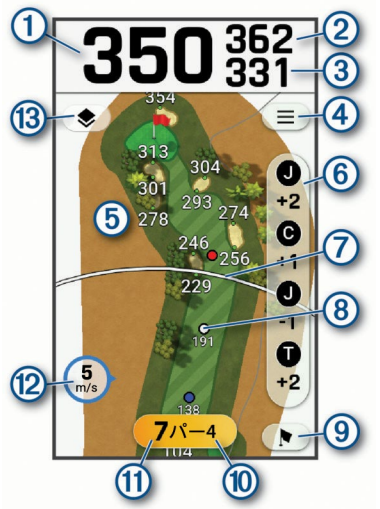
   デバイスが衛星を受信し、現在地からコースまでの距離を計算します。近くに利用可能なコースが一つしかない場合、そのコースが選択されます。

   注意：衛星信号の捕捉中に **[スキップ]** を選択しないでください。現在地が確認できず、現在地に近いコースが表示されません。
2. コースの一覧が表示されたら、プレーするコースを選択します。
3. ティー位置を選択します。
4. スコア記録方法とプレーヤー数を選択します。（*9 ページ　スコア記録方法を設定する*）
5. **[開始]** を選択します。

   ヒント：Garmin Golf の有料サブスクリプションを契約している場合は、Garmin Golf アプリとの通信が有効なときに各ホールのグリーンズーム画面で をタップすると、Green Contour 機能（グリーン傾斜情報）を利用できます。（*19 ページ　Garmin Golf アプリ*）

ホール情報ページ

GPS の位置情報をもとに、現在のホールが表示されます。



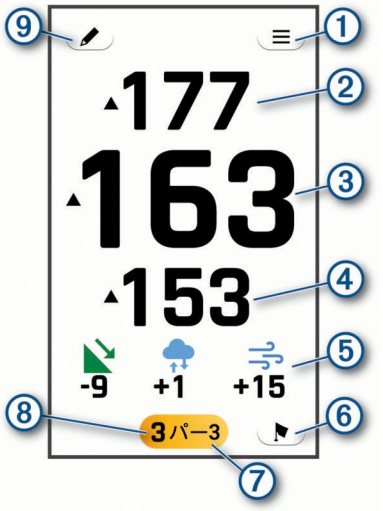
①	グリーン中央または設定したピン位置までの距離 **タップ**：PlaysLike 距離に切り替えます。（*6 ページ　PlaysLike 距離を確認する*）
②	グリーン奥までの距離
③	グリーン手前までの距離
④	**タップ**：ラウンドオプションや設定を表示・編集します。（*4 ページ　ラウンドオプション*）
⑤	ホールビュー **タップ**：タッチターゲッティングで距離を計測します。（*5 ページ　タッチターゲッティングで距離を計測する（3 点間距離計測）*）
⑥	**タップ**：スコアカードを表示・編集します。（*8 ページ　スコアを記録する*）
⑦	ティーイングエリアからのドライバーショット到達範囲の目安（*22 ページ　設定*）
⑧	ピンまでのレイアップ距離 色で距離を示します。（単位はヤードまたはメートル） 赤：100、白：150、青：200、黄：250
⑨	グリーンの拡大表示とピン位置を変更（*5 ページ　グリーン上のピンの位置を変更する*）
⑩	現在ホールのパー数
⑪	現在のホール番号 **タップ**：ホールを変更します。（*4 ページ　ホールを変更する*）
⑫	風速と風向き（*6 ページ　風向 / 風速*）

⑬	**タップ**：地図タイプを切り替えられます。この機能を利用するには、Garmin Golf の有料サブスクリプションが必要です。（*19 ページ　Garmin Golf アプリ*）

数字を大きく表示する（ビッグナンバーモード）

ホール情報ページの数字を大きく表示することができます。

ラウンド中に、☰ > **[設定]** > **[数字を大きく表示]** の順に選択します。



①	**タップ**：ラウンドオプションや設定を表示・編集します。（*4 ページ　ラウンドオプション*）
②	グリーン奥までの距離
③	グリーン中央または設定したピン位置までの距離
④	グリーン手前までの距離
⑤	**グリーンまでの距離表示部をタップ**：PlaysLike 距離とアイコンを表示します。（*6 ページ　PlaysLike 距離を確認する*）
⑥	**タップ**：グリーンズームを表示したりピン位置を変更します。（*5 ページ　グリーン上のピンの位置を変更する*）
⑦	現在ホールのパー数
⑧	現在のホール番号 **タップ**：ホールを変更します。（*4 ページ　ホールを変更する*）
⑨	**タップ**：スコアカードを表示・編集します。（*8 ページ　スコアを記録する*）

ホールを変更する

ホール情報ページに表示するホールを手動で切り替えることができます。

1. ホール情報ページで、現在のホール番号をタップします。
2. ホールを選択します。

ラウンドオプション

ラウンド中に☰を選択すると、ラウンドオプションからゴルフ機能にアクセスできます。

[バーチャルキャディ]：バーチャルキャディがクラブ選択をアシストします。（*8 ページ　バーチャルキャディ*）

[スコア開始] / [スコアカード]：ラウンドのスコアカードを表示します。（*8 ページ　スコアを記録する*）

[PinPointer]：現在地からグリーンの方向とピンまでの距離を示します。グリーンが目視で確認できない位置からショットを打つ際に便利な機能です。（*6 ページ　ピンの方向を確認する*）

注意：キャディバッグやカートにデバイスを取り付けているときは、ピンポインター機能を使用しないでください。キャディバッグやカートの磁気がコンパスの精度に影響を及ぼすおそれがあります。

[風速]：風向と風速を表示します。（*6 ページ　風向 / 風速*）

[ショットの計測]：ショットの飛距離を計測します。（*7 ページ　ショットを計測する*）

[カスタムターゲット]：ホールにあるハザードや障害物などの情報を登録できます。（*7 ページ　カスタムターゲットを保存する*）

[バックナインを追加]：後半の 9 ホールコースを追加します。

注意：この設定は 9 ホールコースのプレー中のみ表示されます。

[グリーンを変更]：プレーするホールの左右グリーンを変更します。（2 グリーンのコースのみ）

[設定]：デバイスの設定と各種機能をカスタマイズします。（*22 ページ　設定*）

[ラウンド終了]：現在のラウンドを終了または一時停止します。（*10 ページ　ラウンドを中断 / 終了する*）

グリーン上のピンの位置を変更する

ラウンド中は、グリーンを拡大表示したりマップ上のピンの位置を変更できます。

1. ラウンドを開始します。（*3 ページ　ラウンドを開始する*）
2. を選択します。
3. グリーン上のピン①をドラッグするか、グリーン上の任意の地点を**タップ**してピンの位置を変更します。



ピン位置に合わせてフロントエッジ・バックエッジの基準地点②が調整されます。

変更後のピン位置を元に、ホール情報ページの距離表示が更新されます。変更したピンの位置は、現在のラウンド中のみ保存されます。

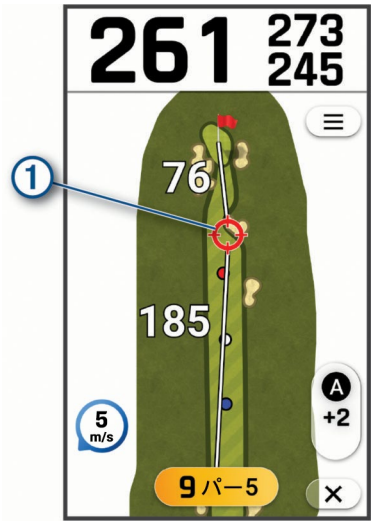
タッチターゲッティングで距離を計測する（3 点間距離計測）

ラウンド中は、タッチターゲッティング機能を使用してマップ上の任意の地点までの距離を計測できます。

1. ラウンドを開始します。（*3 ページ　ラウンドを開始する*）
2. マップ表示部を**タップ**します。

   マップ上にターゲットサークル が表示されます。
3. 任意の地点を**タップ**するか、ターゲットサークル①をドラッグして距離を計測したい地点にターゲットサークルを合わせます。

   現在地からターゲットサークルまでの距離と、ターゲットサークルからピンまでの距離が表示されます。



4 通常のマップ表示に戻るには、✖を選択します。

PlaysLike 距離を確認する

コースの高低差や風速、風向き、空気密度を考慮した、グリーンまでの実際に打つべき推奨距離を表示します。

ヒント：PlaysLike 距離を算出する際に参照する要素は、デバイス設定で編集できます。（*23 ページ　PlaysLike 設定*）

ラウンド中に、グリーンまでの距離表示部を**タップ**します。

PlaysLike 距離を表すアイコンが距離の横に表示されます。

▲	水平距離よりも長い
■	水平距離と同等
▼	水平距離よりも短い
	高低差による距離の変化量
	空気密度による距離の変化量
	風による距離の変化量

ピンの方向を確認する

現在地からグリーンの方向と距離を示します。グリーン上のピンの位置が目視で確認できない位置からショットを打つ際に便利な機能です。

注意：キャディバッグやカートにデバイスを取り付けているときは、ピンポインター機能を使用しないでください。キャディバッグやカートの磁気がコンパスの精度に影響を及ぼすおそれがあります。

1 ラウンド中に☰を選択します。

2 **[PinPointer]** を選択します。

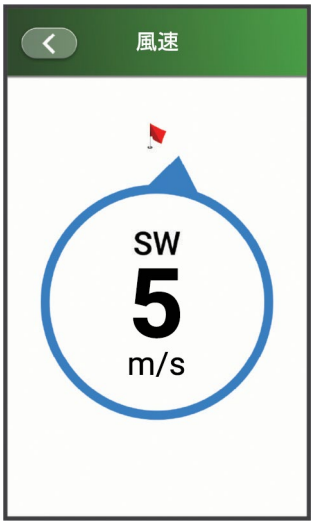
ポインターがピンの位置を指し示します。

風向 / 風速

風向きと風速を示します。また、ピン位置の方向を基準とした風向きが矢印で示されます。風向 / 風速を使用するには、あらかじめ Garmin Golf アプリを利用してペアリング済みのスマートフォンとデバイスを接続してください。

1 ラウンド中に☰を選択します。

2 **[風速]** を選択します。



ピン位置の方向を基準とした風向きを矢印で指し示します。

ヒント：ホール情報ページに風情報アイコンが表示されている場合は、アイコンを**タップ**して風速と風向きの情報をすばやく確認できます。(*3 ページ　ホール情報ページ*)

ショットを計測する

注意：この機能では 2 地点間の距離を GPS 位置情報をもとに計測します。

1. ショットを打ち、ボールが止まるまで待ちます。
2. ショット地点で ☰ > **[ショットの計測]** > **[開始]** の順に選択します。
3. ショットの距離計測モードになります。ボールの落下地点まで移動します。
   ショットの距離計測を開始した地点から現在地までの距離が表示されます。
4. **[保存]** を選択します。
   注意：**[リセット]** を選択すると、計測した距離がリセットされます。
5. 使用したクラブを選択します。

記録したショットデータは、プレー中のラウンドのスコアカードに保存されます。ラウンド終了後にデバイスを Garmin Golf アプリと同期すると、ショットデータとスコアカードをアプリで確認できるようになります。(*19 ページ　Garmin Golf アプリ*)

カスタムターゲットを保存する

ラウンド中にホールごとに 5 か所までカスタムターゲット(ポイント)を登録することができます。マップ上には表示されない障害物などを記録しておきたい場合などに便利な機能です。

1. カスタムターゲットを登録したい地点まで移動します。
   注意：現在地から離れたホールのカスタムターゲットは登録できません。
2. ホール情報ページで、☰ > **[カスタムターゲット]** の順に選択します。
3. カスタムターゲットのタイプを選択します。
4. 他のターゲットを続けて登録する場合は、**[追加]** を選択します。

カスタムターゲットを削除する

現在のホールで登録したカスタムターゲットを一括削除できます。

☰ > **[カスタムターゲット]** > **[ターゲット削除]** > **[OK]** の順に選択します。

バーチャルキャディ

バーチャルキャディは、ホール情報や風向き、風速、各クラブでの過去のパフォーマンスをもとに、クラブ選択のアドバイスを表示します。デバイスのクラブマッピング機能で蓄積したクラブごとのショットデータをもとに推奨クラブを提案することもできます(*16 ページ　「クラブマッピング」でクラブ別データを記録する*)。バーチャルキャディを使用するには、5 ラウンド分のクラブ統計データが必要です。使用クラブを記録して 5 ラウンド以上プレーし、スコアカードを Garmin Golf アプリにアップロードしてください。

ヒント：バーチャルキャディで使用するショットデータは、Approach クラブトラッキングセンサーを使用して記録することもできます。



①	おすすめの使用クラブ(またはクラブの組み合わせ) **タップ**：他の提案を確認します。
②	①のクラブを使用した場合の次のショットの着弾地点予想範囲(クラブのショット履歴に基づいて計算されます。)

トーナメントモードをオンにする

トーナメントモードをオンにすると、ピンポインター、PlaysLike 距離、バーチャルキャディ、グリーンズーム(グリーン情報表示)が無効になります。ゴルフの公認トーナメントやハンディキャップを算出するラウンドでの使用が認められていない機能を一括で無効にできます。

グリーンズームの Green Contour 機能(グリーン傾斜情報)を利用するには、Garmin Golf の有料サブスクリプションが必要です。(*19 ページ　Garmin Golf アプリ*)

ラウンド中に、☰ > **[設定]** > **[トーナメントモード]** > **[ステータス]** > **[オン]** の順に選択します。

スコアを記録する

最大 4 人のプレーヤーのスコアを記録できます。

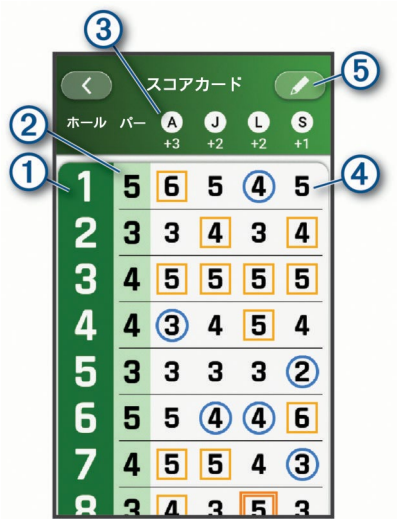
1. ラウンドを開始します。(*3 ページ　ラウンドを開始する*)
2. スコアカードを選択します。
3. ホール番号を選択してストローク数を入力します。
4. ー または ＋ を選択してスコアを編集します。
5. ✔ を選択してスコアを保存します。

   注意：✖ を選択するとキャンセルできます。

   ヒント：ラウンド中に任意のタイミングでスコアを編集するには、☰ > **[スコアカード]** を選択してください。
6. 必要に応じて、✎ を選択してスコア設定でプレーヤー名やプレー人数などを編集します。

スコアカード画面の見かた

ラウンド中に、スコアカード画面からプレーヤー名やスコアを確認・編集できます。



①	ホール番号
②	ホールのパー数
③	プレーヤー名(頭文字)
④	打数 **タップ**：ホールの打数の入力・編集、プレーヤー別のホール情報を確認します。 **注意**：スコアナンバーの周りの装飾は、パー数との差を示します。 ライトブルーの円：1 打少ない(バーディ) ダークブルーの二重の円：2 打以上少ない ライトオレンジの四角：1 打多い(ボギー) その他のカラーの四角：2 打以上多い(オーバーした打数を色で示します) 装飾なし：パー
⑤	**タップ**：スコア設定を確認・編集します。

スコア記録方法を設定する

スコア記録方法を選択することができます。

1 次のオプションを選択します。

- ラウンド中は、 > **[スコアカード]** > > **[スコア記録方法]** の順に選択します。
- ラウンド中以外は、 > **[スコア]** > **[スコア記録方法]** の順に選択します。

2 スコア記録方法を選択します。

ステーブルフォード

スコア記録方法(*9 ページ　スコア記録方法を設定する*)のステーブルフォードとは、各ホールのパーに対する打数で得られる得点の合計を競い、最も得点の高い者を優勝者とする競技方式です。得点は、全米ゴルフ協会が定める点数が付与されます。

ステーブルフォード方式のスコアは、総打数ではなく総得点で表現されます。

得点	パー数に対する打数
0	2 打以上多い(ダブルボギー以上)
1	1 打多い(ボギー)
2	パー
3	1 打少ない(バーディ)
4	2 打少ない(イーグル)
5	3 打少ない(アルバトロス)

マッチプレー

スコア記録方法(*9 ページ　スコア記録方法を設定する*)のマッチプレーとは、各ホールで最も少ない打数のプレーヤーに 1 点が与えられ、ラウンド終了時に最も得点の高い者を優勝者とする競技方式です。

注意：マッチプレー方式は、プレー人数が 2 人以上の場合のみ利用できます。

デバイスで打数をカウントするよう設定している場合は、各ラウンドの勝者が自動的に判定されます。デバイスで打数をカウントしない場合は、各ホール終了時に最も打数が少なかったプレーヤーを、打数が同数の場合は**[ハーフ]**を選択してください。

スキンズマッチ

スコア記録方法(*9 ページ　スコア記録方法を設定する*)のスキンズとは、ホールごとに設定された賞品(スキン)を争う競技方式です。

デバイスで打数をカウントするよう設定している場合は、各ホールの勝者が自動的に判定されます。デバイスで打数をカウントしない場合は、各ホール終了時に最も打数が少なかったプレーヤーを、打数が同数の場合は 1 位タイとなった全員を選択してください。

ハンディキャップを設定する

1. ラウンド中に、☰ > **[設定]** > **[スコア]** > **[ハンディキャップスコア]** の順に選択します。
2. 次のオプションを選択します。
   - **[Garmin Golf を使用]**　Garmin Golf アプリのパフォーマンス統計で算出されたハンディキャップの数値を使用します。
   - **[ローカルハンディキャップ]**　ローカルハンディキャップを利用します。ローカルハンディキャップのハンディキャップストローク数を入力します。
   - **[インデックス / スロープ]**　インデックス / スロープハンディキャップを利用します。ハンディキャップインデックスとスロープレーティングを基にハンディキャップが計算されます。
3. ハンディキャップスコアを利用しない場合は、**[オフ]** を選択します。

ラウンド概要記録を有効にする

ラウンド中に、☰ > **[設定]** > **[スコア]** > **[ラウンド概要記録]** > **[オン]** の順に選択します。

ラウンド概要を記録する

ラウンド概要を記録するには、ゴルフ設定でラウンド概要記録を有効に設定する必要があります。(*10 ページ　ラウンド概要記録を有効にする*)

1. 必要に応じて、スコアカード画面でホール番号を選択します。
2. ＋ または － を選択してパット数を含む総ストローク数を入力します。
3. パット数を入力します。

   ヒント：パット数はラウンド概要記録がオンのときのみ入力します。スコアへの影響はありません。
4. フェアウェイに対するティーショットの落下地点を表す矢印を選択します。
5. ペナルティ数を入力します。
6. ✔ を選択します。

履歴

ペアリング済みのスマートフォンの Garmin Golf アプリにスコアカードをアップロードすると、アプリで過去のラウンドデータやプレーヤーの統計情報を確認できます。(*19 ページ　Garmin Golf アプリ*)

ラウンドを中断 / 終了する

1. ☰ > **[ラウンド終了]** の順に選択します。
2. 次のオプションを選択します。
   - **[✎]**　スコアカードのパフォーマンス統計とラウンド情報を確認します。
   - **[保存]**　スコアカードを保存してラウンドを終了します。
   - **[削除]**　スコアカードを保存せずにラウンドを終了します。

スイング計測機能

デバイスにはショットやパッティングの練習をしてゲームスキルの向上に取り組んだり、クラブマッピングに必要なクラブごとのショットデータを蓄積するための複数のトレーニングモードが用意されています。これらの機能は、デバイス内蔵のレーダーを使用して測定を行い、ゴルフ練習の分析に役立つデータを提供します。ターゲット距離、ロールファクター、単位などのトレーニング設定は、練習開始前や練習中にカスタマイズできます。(*18 ページ　スイング計測機能の設定項目*)

注意：ラウンド中でも、レーダーボタンを押してスイング練習を行うことができます(*1 ページ　デバイス概要*)。このモードでボールを打たずにスイングをした場合は、クラブヘッドスピードとスイングテンポのみが表示されます。

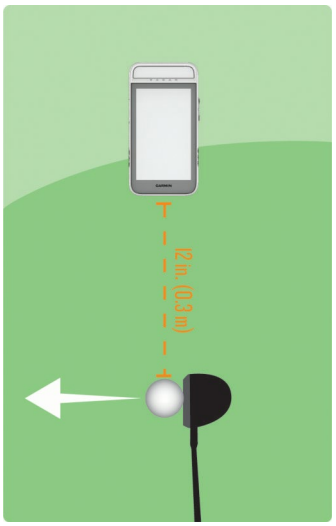
[ドライビングレンジ]：キャリー距離とトータル飛距離(キャリー + ラン)の推定値、ボールスピード、スマッシュファクター、スイングテンポなど、レーダーでボールおよびスイング指標を計測します。(*11 ページ　「ドライビングレンジ」でトレーニングする*)

[パッティングトレーニング]：ストロークの長さ、ボールスピードとクラブスピード、テンポなどのパッティング指標を計測します。(*14 ページ　「パッティングトレーニング」を使用する*)

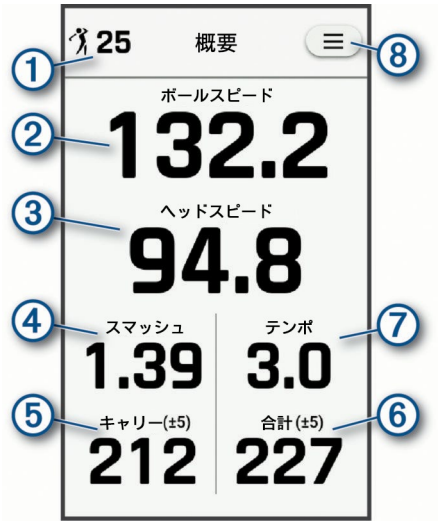
[クラブマッピング]：クラブごとの平均キャリー距離やトータル飛距離を測定します。(*16 ページ　「クラブマッピング」でクラブ別データを記録する*)

「ドライビングレンジ」でトレーニングする

1. > **[ドライビングレンジ]** > **[開始]** の順に選択します。
   レーダーが起動します。
2. デバイス背面にマグネットクリップを取り付けます。(*25 ページ　マグネットクリップを使用する*)
3. デバイスをボールの横、0.3 m(1 ft.)以内の場所に置きます。クラブを構える位置とボール・デバイスを置く地面が同じ高さで、3 点を結んだ線が直線になるように並べてください。
4. デバイスのマグネットクリップ背面のくぼみに別のゴルフボールを当てて、デバイスを支えるように置きます。



5. ショットを打ちます。



①	ショット本数
②	ボールスピード
③	クラブヘッドスピード
④	スマッシュファクター **注意**：スマッシュファクターとは、ボールスピードをクラブヘッドスピードで割った値で、クラブがボールをどれだけ効率よく打てているかを示す指標です。数値が高いほど効率が良いことを意味します。
⑤	推定キャリー飛距離
⑥	推定トータル飛距離
⑦	スイングテンポ(*13 ページ　テンポトレーニング*) **注意**：スイングテンポとは、バックスイング速度をダウンスイング速度で割り、比率で表したものです。
⑧	**タップ**：ドライビングレンジの設定変更、使い方のヒントの表示、ドライビングレンジのトレーニングセッション終了の操作ができます。(*18 ページ　スイング計測機能の設定項目*)

6 必要に応じて、画面を横方向に**スワイプ**してテンポトレーニング(*13 ページ　テンポトレーニング*)とターゲット練習(*14 ページ　ターゲット練習*)ページを確認します。

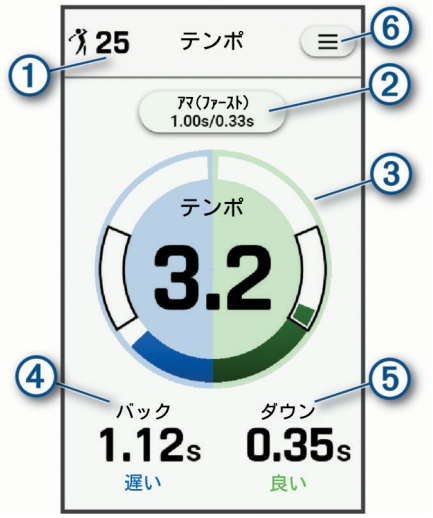
7 トレーニングを終了するには、☰ > **[セッション終了]** の順に選択します。

8 **[はい]** を選択してトレーニングセッションを保存します。
保存されたトレーニングセッションは、Garmin Golf アカウントで確認できます。(*19 ページ　Garmin Golf アプリ*)

テンポトレーニング

バックスイングとダウンスイングの速度を計測して、スイングテンポを表示します。スイングテンポとは、バックスイング速度をダウンスイング速度で割り、比率で表したものです。一般に理想的なスイングは、バックスイングとダウンスイングの速度比が 3:1 とされ、このスイングテンポを 3.0 とします。(*13 ページ　理想的なスイングテンポ*)

ホーム画面で を選択し、ドライビングレンジまたはパッティングトレーニングのセッションを開始します。続けて、画面を横方向に**スワイプ**して **[テンポトレーニング]** ページを表示します。



①	ショットまたはパットの本数
②	バックスイングとダウンスイングのテンポタイミング(ドライビングレンジ)、目標テンポ(パッティングトレーニング) **タップ**：テンポを変更します。
③	計測結果 **注意**：スイングテンポとタイムの目標達成レベルが色で表示されます。 緑：目標タイムとの誤差 25%以内、赤：目標タイム -25%より早い、青：目標タイム +25%より遅い
④	バックスイングのタイム
⑤	ダウンスイングのタイム
⑥	**タップ**：トレーニングの設定変更、使い方のヒントの表示、トレーニングセッション終了の操作ができます。 (*18 ページ　スイング計測機能の設定項目*)

理想的なスイングテンポ

0.7 秒 /0.23 秒や 1.2 秒 /0.4 秒などのゴルファーの能力や経験によって異なる 6 つのスイングテンポで練習することで、理想的な 3.0 のテンポを達成できます。

まずは最も遅いテンポを選択して、数回スイングして試します。テンポ目標を安定して達成できるようになったら、一つ速いテンポの練習に切り替えてみてください。自分に合ったスイング速度を見つけたら、その速度で繰り返し練習しても良いでしょう。

ターゲット練習

ホーム画面で を選択し、ドライビングレンジのセッションを開始します。続けて、画面を横方向に**スワイプ**して **[ターゲット練習]** ページを表示します。

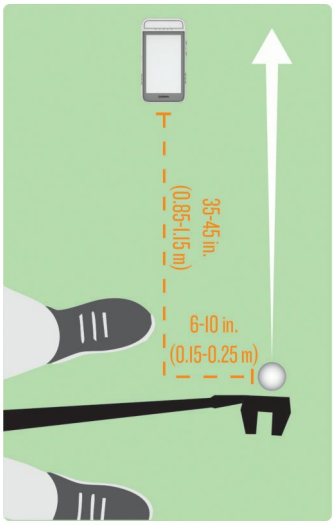
注意：ターゲット練習データを確認するには、あらかじめ **[ターゲット距離]** を設定する必要があります（*18 ページ　スイング計測機能の設定項目*）。この設定は、トレーニングセッション中にいつでも更新することができます。



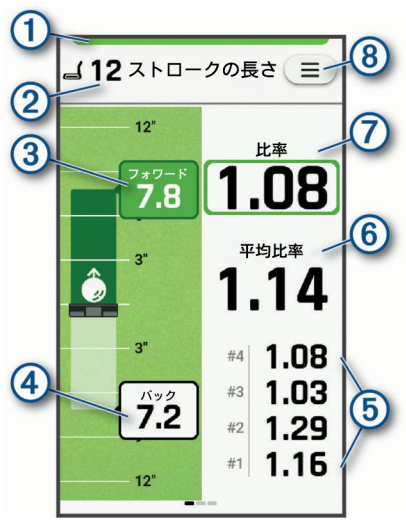
①	ショット本数
②	ショットの着弾地点（赤）：ターゲットエリア外のショット
③	ショットの着弾地点（青）：ターゲットエリア内のショット
④	現在のショットの飛距離
⑤	ショット履歴
⑥	トレーニングセッション中の全ショットの平均飛距離
⑦	ショット数に対するターゲットヒット数
⑧	ターゲット距離 **タップ**：ドライビングレンジトレーニングセッションのターゲット距離を変更します。
⑨	**タップ**：ドライビングレンジの設定変更、使い方のヒントの表示、ドライビングレンジのトレーニングセッション終了の操作ができます。（*18 ページ　スイング計測機能の設定項目*）

「パッティングトレーニング」を使用する

1. > **[パッティングトレーニング]** > **[開始]** の順に選択します。
   レーダーが起動します。
2. デバイス背面にマグネットクリップを取り付けます。（*25 ページ　マグネットクリップを使用する*）
3. デバイスをボールの進行方向、0.85 ～ 1.15 m（35 ～ 45 in.）以内の地面に置きます。
4. ボールを、ボールとデバイスを結んだ線から 0.15 ～ 0.25 m（6 ～ 10 in.）ずらして置き直します。
5. デバイスのマグネットクリップ背面のくぼみに別のゴルフボールを当てて、デバイスを支えるように置きます。



6 パッティングします。



①	レーダーのステータス 緑：準備完了、赤：測定できません
②	パッティング本数
③	フォロースルーの距離 緑：フォロースルーの距離がバックストロークの距離の 0.95 ～ 1.5 倍以内 赤：理想のストローク長比率を達成できていない
④	バックストロークの距離
⑤	過去 4 本のストローク長比率
⑥	平均のストローク長比率
⑦	現在のパッティングのストローク長比率 **注意**：ストローク長比率とは、フォロースルーの長さをバックストロークの長さで割った値です。
⑧	**タップ**：パッティングの速度の単位変更、使い方のヒントの表示、パッティングのトレーニングセッション終了の操作ができます。(*18 ページ　スイング計測機能の設定項目*)

7 必要に応じて、画面を横方向に**スワイプ**してテンポトレーニング(*13 ページ　テンポトレーニング*)とパッティング概要(*16 ページ　パッティングの概要ページ*)ページを確認します。

8 トレーニングを終了するには、☰ > **[セッション終了]** の順に選択します。

9 **[はい]** を選択してトレーニングセッションを保存します。

保存されたトレーニングセッションは、Garmin Golf アカウントで確認できます。(*19 ページ　Garmin Golf アプリ*)

パッティングの概要ページ

パッティング時のフォロースルーとバックスイングのストロークの長さを計測して、ストローク長比率を表示します。ストローク長比率とは、パットを打つ際のフォロースルーの長さをバックスイングの長さで割った値です。一般に理想的なパッティングストロークの長さ比は、バックストローク 1 : フォロースルー 1.5 とされ、これはプロゴルファーを対象とした調査結果に基づいています。この比率を意識することで、インパクトに向けてスムーズに加速できるようになります。

ホーム画面で を選択し、パッティングトレーニングのセッションを開始します。続けて、画面を横方向に**スワイプ**して **[概要]** ページを表示します。

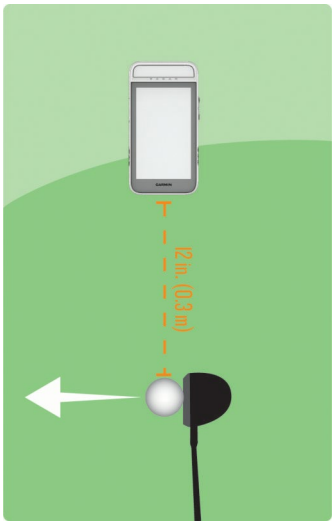


①	レーダーのステータス 緑：準備完了、赤：測定できません
②	トレーニングセッション中のパッティング本数
③	ボールスピード
④	クラブヘッドスピード
⑤	パッティングのストローク長比率 **注意**：ストローク長比率とは、フォロースルーの長さをバックストロークの長さで割った値です。
⑥	スイングテンポ（*13 ページ　テンポトレーニング*） **注意**：スイングテンポとは、バックスイング速度をダウンスイング速度で割り、比率で表したものです。
⑦	**タップ**：パッティングの速度の単位変更、使い方のヒントの表示、パッティングのトレーニングセッション終了の操作ができます。（*18 ページ　スイング計測機能の設定項目*）

「クラブマッピング」でクラブ別データを記録する

クラブマッピング機能で、クラブごとの平均キャリー距離やトータル飛距離を測定できます。（*18 ページ　スイング計測機能の設定項目*）

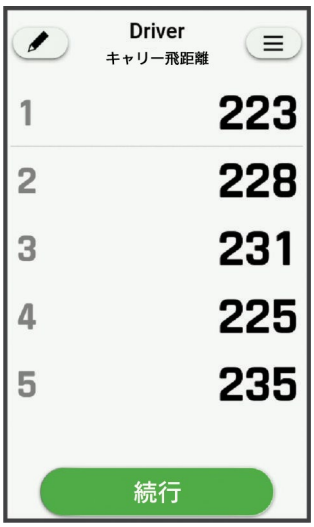
1. > **[クラブマッピング]** > **[開始]** の順に選択します。
   レーダーが起動します。
2. 測定するクラブを選択します。複数選択する場合は、クラブの番手を昇順または降順で選択します。
3. ✔ > **[開始]** の順に選択します。
   注意：セッションを開始する前に、スイング指標を使ってウォームアップすることもできます。
4. デバイス背面にマグネットクリップを取り付けます。（*25 ページ　マグネットクリップを使用する*）
5. デバイスをボールの横、0.3 m（1 ft.）以内の場所に置きます。クラブを構える位置とボール・デバイスを置く地面が同じ高さで、3 点を結んだ線が直線になるように並べてください。
6. デバイスのマグネットクリップ背面のくぼみに別のゴルフボールを当てて、デバイスを支えるように置きます。



7 ショットを打ちます。



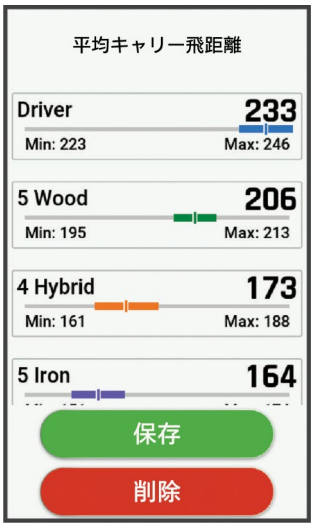
8 選択したクラブで 5 回続けてショットを打ちます。
計測が完了すると、各スイングの飛距離をまとめた概要データが表示されます。



注意：必要な場合はショットを削除できます。 を選択し、削除したいショットを選択して **[削除]** > **[クラブの終了]** の順に選択してください。その後、再度ショットを打ち、そのクラブで 5 回分のショットデータが揃うまで測定を続けます。

9 **[続行]** を選択します。
注意：操作しないまま 10 秒経過すると、自動的に次のクラブの計測モードに移行します。

10 選択したすべてのクラブで、手順 7 ～ 9 を繰り返します。
クラブマッピングセッションのすべてのショットの計測を完了すると、クラブごとの平均飛距離をまとめた概要データが表示されます。



11 **[保存]** を選択します。
12 次のオプションを選択します。
・**[クラブデータを使用]** > **[確認]** バーチャルキャディ機能でクラブマッピングデータを使用します。(*8 ページ　バーチャルキャディ*)
・**[スキップ]** バーチャルキャディ機能で使用するデータは、ラウンド中に記録したクラブデータから変更しません。
13 Garmin Golf アプリと同期して、アプリで最新のクラブデータを確認します。(*19 ページ　Garmin Golf アプリ*)

スイング計測機能の設定項目

を選択し、任意のトレーニングモードを選択して **[設定]** を選択すると、トレーニングの設定および各種機能をカスタマイズできます。

注意：設定可能な項目は、トレーニングモードにより異なります。

[距離指標]：クラブマッピングセッションでボールの飛距離を計測するための距離オプションを設定します。

[セッション終了]：現在のトレーニングセッションを終了します。

[設置に関するヘルプ]：レーダー性能を最大限に発揮するための、ボールに対するデバイスの設置位置を説明するチュートリアルを表示します。

[クラブを選択]：現在のショットで使用するクラブを設定します。

[ロールファクターの設定]：ボールの転がり距離の補正値を設定します。(*18 ページ　転がり距離の補正値を設定する*)

[速度単位]：ボールスピード(ボールの移動速度)を表示する単位を設定します。

[スイングスピード]：インパクトの瞬間のクラブヘッドの速度を設定します。これはスイングテンポに影響する場合があります。**[カスタム]** を選択すると、スイングテンポ比率をカスタマイズできます(*13 ページ　理想的なスイングテンポ*)。

[ターゲット距離]：ボールの目標飛距離を設定します。

[ヒント]：ゴルフスイングの改善に役立つアドバイスを表示します。

転がり距離の補正値を設定する

デバイスは、キャリー飛距離の推定値に、着弾後のボールの転がり距離を加えた値をトータル飛距離として算出します。転がり距離は、ボールやクラブの違い、地面の状態、さらにボールのスピン量や打ち出し角などによって変動しますが、これらの要素はデバイスでは検知できません。トータル飛距離が想定していたものと異なる場合は、転がり距離の補正を調整することができます。

1 > **[ドライビングレンジ]** > **[設定]** > **[ロールファクターの設定]** の順に選択します。
2 スライダーで転がり距離の補正を調整します。

ワイヤレス接続

デバイスを Garmin Golf アプリをインストールしたスマートフォンと Bluetooth® 接続することで、スマートフォン連携機能を利用できます。アプリについて詳しくは、*Garmin.com/apps* をご参照ください。一部の機能は、Wi-Fi ネットワーク経由でも利用可能です。

Garmin Golf へのスコアカードアップロード：デバイスで記録したスコアカードを、Garmin Golf アプリとの同期時に自動でアップロードします。アプリで詳細な統計を確認したり、オンラインリーダーボードに参加できるようになります。

ソフトウェア更新：利用可能な更新ソフトウェアを Garmin Golf アプリからデバイスにダウンロードしてインストールできます。

コースデータのアップデート：ゴルフコースの最新のデータを Garmin Golf アプリから受信します。

Bluetooth 対応機器との接続：Approach クラブトラッキングセンサーやレーザー距離計などの Bluetooth 対応センサーと接続が可能です。

Find My Garmin：手元から見失ってしまったデバイスを Garmin Golf アプリで探索します。デバイスとスマートフォンとの間で最後に Bluetooth 通信が行われたときの位置情報を表示します。

注意：Find My Garmin 機能を利用するには、あらかじめ Garmin Golf アプリのスマートフォンの位置情報へのアクセスを常に許可に設定する必要があります。

スマートフォンとペアリングする

スマートフォン連携機能を利用するには、スマートフォンの Bluetooth 設定からではなく、Garmin Golf アプリとデバイスを直接ペアリングする必要があります。

1. デバイスの初期設定でスマートフォンとのペアリングを求めるメッセージが表示されたら、**[OK]** を選択します。

   注意：初期設定がすでに完了している場合は、⚙ > **[システム]** > **[ワイヤレス接続]** > **[ペアリング]** の順に選択します。
2. スマートフォンで二次元コードをスキャンします。

   注意：スマートフォンに Garmin Golf アプリがインストールされていない場合は、アプリのインストールを促すメッセージが表示されます。
3. Garmin Golf アプリを開きます。
4. **[デバイス追加]** を選択します。
5. アプリの画面に表示される指示に従い、ペアリングを完了します。

Garmin Golf アプリ

Garmin Golf アプリを利用すると、対応する Garmin デバイスからスコアカードをアップロードして、詳細な統計データやショットの分析を確認できます。また、異なるコースにいてもプレーヤー同士で競い合うことができます。誰でも参加可能なウィークリーリーダーボードが 43,000 コース以上用意されています。ユーザーは、自由にトーナメントイベントを設定してプレーヤーを招待することができます。有料の Garmin Golf Membership に加入すると、Green Contour 機能（グリーン傾斜情報）など、追加機能を利用できます。

Garmin Golf アプリのデータは、Garmin Connect アカウントに同期されます。Garmin Golf アプリは、スマートフォンのアプリストアからダウンロードすることができます。（*Garmin.com/golfapp*）

コースマップの自動更新

Approach G82 は Garmin Golf アプリの自動コース更新機能に対応しています。デバイスをスマートフォンに接続すると、最も利用頻度が高いゴルフコース情報が自動で更新されます。

ゴルフクラブのリストをカスタマイズする

デバイスをスマートフォンの Garmin Golf アプリとペアリングすると、デフォルトで登録されているクラブ一覧をアプリでカスタマイズできます。

1. スマートフォンで Garmin Golf アプリを開きます。
2. **[プロフィール]** > **[クラブセット]** の順に選択します。
3. 任意のオプションを選択してクラブを追加または編集、削除、除外します。
4. Garmin Golf アプリとデバイスを同期します。デバイスにゴルフクラブのリストの更新が反映されます。

ペアリング済みのスマートフォンと接続する

スマートフォンと接続するには、あらかじめデバイスとスマートフォンをペアリングする必要があります（*19 ページ　スマートフォンとペアリングする*）。スマートフォンとの Bluetooth 接続が有効になると、デバイスで記録したスコアデータなどを Garmin Golf アプリと共有することができます。

1. スマートフォンで、Bluetooth 通信を有効にします。
2. デバイスで、⚙ > **[システム]** > **[ワイヤレス接続]** > **[スマートフォン]** > **[ステータス]** の順に選択して Bluetooth 通信を有効にします。

スマートフォンとの Bluetooth 接続をオフにする

1. ⚙ > **[システム]** > **[ワイヤレス接続]** > **[スマートフォン]** の順に選択します。
2. **[ステータス]** のスイッチを**タップ**して、スマートフォンとの Bluetooth 接続をオフにします。
3. スマートフォンの Bluetooth 設定を開き、デバイスとの Bluetooth 接続を切断します。
   スマートフォンの Bluetooth 設定については、スマートフォンの取扱説明書をご参照ください。

Wi-Fi ネットワークに接続する

デバイスで、Wi-Fi ネットワークとの接続をセットアップできます。

注意：Wi-Fi ネットワークとの接続は Garmin Express でセットアップすることもできます（*29 ページ　Garmin Express をセットアップする*）。一部のワイヤレス接続機能は、Garmin Express 上でしか利用できない場合があります。

1. デバイスで、⚙ > **[システム]** > **[ワイヤレス接続]** > **[Wi-Fi]** の順に選択します。
2. 必要な場合は、**[ステータス]** を選択して Wi-Fi を有効にします。
3. **[マイネットワーク]** > **[ネットワークを追加]** の順に選択します。
4. ネットワーク一覧から接続するネットワークを選択します。
5. 必要な場合は、ネットワークのパスワードを入力します。

デバイスにネットワーク情報が保存されます。デバイスの電源を入れると、自動で再接続します。

ヒント：**[Wi-Fi 同期]** を選択して、デバイスと Garmin アカウントを Wi-Fi 経由で同期することもできます。

クラブトラッキングセンサー

デバイスは Approach クラブトラッキングセンサーに対応しています。ご使用のすべてのクラブにクラブトラッキングセンサー（フルセット）を装着すると、ショットデータとして位置情報や飛距離、使用したクラブを自動で記録できます。詳しくは、Approach CT10 の操作マニュアルをご参照ください。

クラブトラッキングセンサーとペアリングする

ショットを記録するには、あらかじめ Approach クラブトラッキングセンサーと Approach G82 をペアリングし、各センサーにクラブを割り当ててください。

1. センサーをすべての対象のクラブに装着します。
2. ペアリングするクラブをキャディバッグから取り出します。
   ペアリング中は、ほかのクラブをキャディバッグから取り出さないでください。
   ヒント：明るい室内でペアリングを行ってください。センサーは周囲の明るさを感知して自動で起動します。
3. デバイスとクラブを 1 m（3 ft.）以内に近づけます。
   注意： グリップが上を向くようにしてください。
4. デバイスの設定メニューで、**[クラブセンサー]** > **[追加]** の順に選択します。
   デバイスがセンサーの検索を開始します。センサーが検出されると、メッセージが表示されます。
5. 画面に表示される指示に従って、クラブに装着しているセンサーとデバイスをペアリングします。
   センサーにクラブが登録されると、メッセージが表示されます。
6. ペアリングが完了したクラブをキャディバッグに戻します。
7. ペアリングする次のクラブをキャディバッグから取り出します。
8. すべてのセンサーにクラブが登録されるまで、手順 5 ～ 7 を繰り返します。

レーザー距離計とペアリングする

デバイスと対応の Garmin レーザー距離計をペアリングできます。ペアリングが完了すると、デバイスにレーザー距離計で測定した距離が表示されます。

1. デバイスと対応のレーザー距離計を 10 m (33 ft.) 以内に近づけます。
2. > **[距離計をペアリング]** の順に選択します。
3. レーザー距離計の を押して起動し、ペアリングを開始します。
   詳しくは、ご使用のレーザー距離計の操作マニュアルをご参照ください。

設定

⚙を選択し、デバイスの設定と各種機能をカスタマイズします。

[スコア]：スコア記録方法、ハンディキャップスコア、ラウンド概要記録などを設定します。（*22 ページ　スコア設定*）

[ドライバー飛距離]：ドライバーショットの平均飛距離を設定します。ティーイングエリアにいるときは、この設定を元に、ホール情報ページにショットの到達範囲を示す線が表示されます。（*3 ページ　ホール情報ページ*）

[PlaysLike]：PlaysLike 距離（コースの高低差などを考慮した実際に打つべきグリーンまでの距離）を算出する際に参照する要素を設定します。（*23 ページ　PlaysLike 設定*）

[バーチャルキャディ]：バーチャルキャディ機能の表示方法を **[自動]** / **[手動]** から選択します。また、参照するデータソースに関する設定を行います。スイング計測モードのクラブマッピング機能を使用してクラブごとのパフォーマンスを評価し、このクラブデータをもとにバーチャルキャディ機能で推奨クラブを提案するよう設定できます（*16 ページ　「クラブマッピング」でクラブ別データを記録する*）。バーチャルキャディ機能は、仮想キャディから使用するクラブの番手の提案を受け取る機能で、この機能を使用するには、クラブ統計データを含む 5 ラウンド分のスコアカードを Garmin Golf アプリにアップロードする必要があります。（*8 ページ　バーチャルキャディ*）

ヒント：バーチャルキャディで使用するショットデータは、Approach クラブトラッキングセンサーを使用して記録することもできます。

[数字を大きく表示]：ホール情報ページで距離表示の数字を大きく表示します。（*4 ページ　数字を大きく表示する（ビッグナンバーモード）*）

[トーナメントモード]：トーナメントモードをオンにすると、ピンポインター、PlaysLike 距離、バーチャルキャディ、グリーンズーム（グリーン情報表示）が無効になります。ゴルフの公認トーナメントやハンディキャップを算出するラウンドでの使用が認められていない機能を一括で無効にできます。

グリーンズーム（グリーン情報表示）を利用するには、Garmin Golf の有料サブスクリプションが必要です。（*19 ページ　Garmin Golf アプリ*）

[コースマネージャー]：デバイスの内部ストレージ情報や、ダウンロード済みのコースを確認できます。また、コースマップの更新を開始できます。

ヒント：Garmin Express（*Garmin.com/express*）でも、ダウンロード済みのコースを管理できます。

[クラブセンサー]：対応の Approach クラブトラッキングセンサーのセットアップを行います。（*20 ページ　クラブトラッキングセンサーとペアリングする*）

[距離計をペアリング]：対応のレーザー距離計との接続設定を行います。（*21 ページ　レーザー距離計とペアリングする*）

[システム]：バックライトの点灯時間や、単位などのシステム設定を変更します。（*23 ページ　システム設定*）

スコア設定

⚙ > **[スコア]** の順に選択します。

[スコア記録方法]：スコア記録方法を設定します。（*9 ページ　スコア記録方法を設定する*）

[ハンディキャップスコア]：ハンディキャップスコアを設定します。（*10 ページ　ハンディキャップを設定する*）

[合計スコア]：スコアカードにラウンドの合計スコアを表示します。（*8 ページ　スコアを記録する*）

[ラウンド概要記録]：パット数、パーオン率、フェアウェイキープ率などのラウンド概要記録をオン / オフします。（*10 ページ　ラウンド概要記録を有効にする*）

[ペナルティ]：ラウンド概要記録でペナルティの記録をオン / オフします。（*10 ページ　ラウンド概要を記録する*）

[確認]：ラウンド開始時にスコアを記録するか確認します。オン / オフを設定します。

PlaysLike 設定

⚙ > **[PlaysLike]** の順に選択します。

[風速]：風速と風向きの情報を PlaysLike 距離の算出に利用します。

[天気]：空気密度の情報を PlaysLike 距離の算出に利用します。

[ホームコース基本情報]：空気密度の比較に使用される高度、気温、湿度の値を手動で設定できます。

注意：普段よくプレーするコースの平均的な環境情報を設定することで、ユーザーが慣れたプレー環境を考慮して PlaysLike 距離が微調整されます。設定した情報と異なる環境では、空気密度の値が不正確になる場合があります。

システム設定

⚙ > **[システム]** の順に選択して、システム設定をカスタマイズします。

[ワイヤレス接続]：スマートフォンや Wi-Fi ネットワークとの接続をセットアップしたり、Wi-Fi のオン / オフを設定します（*19 ページ　ワイヤレス接続*）。スマートフォンとの接続ステータスも確認できます（*23 ページ　スマートフォン接続設定*）。

[言語]：デバイスの表示言語を選択します。

注意：言語設定を変更しても、ユーザーが入力したデータや地図データの言語は変更されません。

[時刻表示]：時刻の表示方法を、12 時間表示または 24 時間表示から選択します。

[バックライト]：バックライトの点灯時間や輝度を設定します。（*23 ページ　バックライト設定*）

[単位]：単位に関する設定を行います。（*23 ページ　表示単位を変更する*）

[パスコード]：個人情報のセキュリティ強化のための 4 桁のパスコードを設定・変更します。（*24 ページ　デバイスのパスコードを設定する*）

[USB モード]：デバイスを PC に接続するときのモードを、MTP（メディア転送）モードか Garmin モードから選択します（*28 ページ　デバイスを PC に接続する*）。Garmin モードを選択すると、電源に接続されているときでもデバイスを使用することができます。

[スクリーンショット]：デバイスのスクリーンショット機能のオン / オフを設定します。スクリーンショットは、レーダーボタン長押しで取得できます（*1 ページ　デバイス概要*）。取得したスクリーンショットは、デバイスの内部ストレージにある screenshot フォルダに保存されます（*28 ページ　デバイスを PC に接続する*）。

[リセット]：ユーザーデータや設定をリセットします。（*30 ページ　設定をリセットする*）

[バージョン情報]：デバイスのユニット ID、ソフトウェアバージョン、規制情報、ライセンス契約などの情報を確認します。（*28 ページ　電子ラベルの規制および準拠情報を確認する*）

スマートフォン接続設定

スマートフォンの Garmin Golf アプリでデバイスをペアリングして、スマートフォン接続機能を利用できます。（*19 ページ　スマートフォンとペアリングする*）

⚙ > **[システム]** > **[ワイヤレス接続]** > **[スマートフォン]** の順に選択します。

[ステータス]：Bluetooth 接続のオン / オフを設定します。また、現在の接続ステータスを確認できます。（*20 ページ　ペアリング済みのスマートフォンと接続する*）

[ペアリング]：互換性のある Bluetooth 対応スマートフォンとのペアリングを開始します。ペアリング完了後は、スマート通知やスコアカードアップロードなどの Garmin Golf アプリの連携機能を利用できます。

バックライト設定

⚙ > **[システム]** > **[バックライト]** の順に選択します。

注意：バックライトの点灯時間が長い場合や、頻繁にオン / オフを繰り返すと、バッテリー消費が大幅に早くなる可能性があります。バックライトの輝度を下げることで、バッテリー消費を抑えることができます。

[タイムアウト]：バックライトが消灯するまでの時間を設定します。

[バックライトレベル]：バックライトの輝度を設定します。

表示単位を変更する

表示単位に関する設定を行います。

1. ⚙ > **[システム]** > **[単位]** の順に選択します。
2. 表示単位を選択します。

デバイスのパスコードを設定する

注意

パスコードの入力を 5 回間違えると、デバイスがロックされます。ロックされた場合は、デバイスを初期化するか、Garmin Golf アプリでパスコードをリセットする必要があります。

パスコードを設定して、許可されているユーザー以外によってデバイスが使用されることを防ぐことができます。

1. 次のオプションを選択します。
   - 初期設定でパスコードの作成を促すメッセージが表示されたら、**[はい]** を選択します。
   - ⚙ > **[システム]** > **[パスコード]** > **[パスコード設定]** の順に選択します。
2. デバイスと Garmin Golf アプリをペアリングしていない場合は、パスコードのセットアップの確認を促すメッセージが表示されたら **[有効]** を選択します。
3. 4 桁のパスコードを入力します。
4. パスコードを再入力します。
5. **[完了]** を選択します。

パスコード設定後は、デバイスを起動する際にパスコードの入力が必要になります。

デバイスのパスコードを変更する

パスコードを変更するには、現在のパスコードの入力が必要です。パスコードを忘れてしまった場合、またはパスコードを 5 回以上間違えた場合は、Garmin Golf アプリでパスコードをリセットする必要があります。

1. ⚙ > **[システム]** > **[パスコード]** > **[パスコードの変更]** の順に選択します。
2. 現在のパスコードを入力します。
3. 新しいパスコードを入力します。
4. 新しいパスコードを再度入力します。
5. **[完了]** を選択します。

パスコード設定後は、デバイスを起動する際にパスコードの入力が必要になります。

デバイス情報

マグネットクリップを使用する

⚠警告

デバイスとクリップには磁石が使われています。特定の状況下において、磁石はペースメーカーやインスリンポンプなどの医療機器に干渉するおそれがあります。磁石が使われているデバイスおよびアクセサリーは医療機器に近づけないでください。

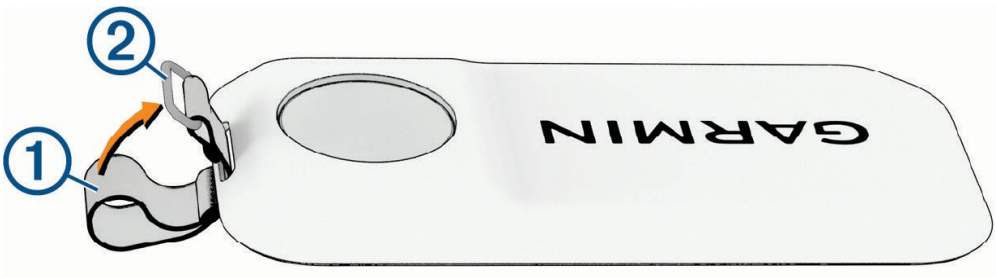
注意

デバイスとクリップには磁石が使われています。特定の状況下において、磁石は PC のハードドライブなどの電子機器を破損させるおそれがあります。磁石を含むデバイスおよび充電ケーブルが電子機器の近くにある際は、注意してください。磁石が使われているデバイスおよびアクセサリーを電子機器の近くで使用する場合は注意してください。

マグネットクリップに付属のストラップカラビナを使用して、デバイスをベルトやポケット、バッグに取り付けることができます。また、スイング計測時のデバイススタンドとして使用することもできます。

注意：デバイスのアクセサリーは、*こちら*から購入できます。

1 ストラップの輪になっている方①を、マグネットクリップにある取り付け部の表側から裏側に向けて通します。



2 ストラップの輪になっている方を、ストラップの反対側の端にある金属ループ②に通します。

3 カラビナ③をストラップの輪に取り付けます。



4 マグネットからカチッと音がするまでデバイスをクリップに押し込み、固定します。



5 スイング計測モード中は、デバイスに取り付けたマグネットクリップにあるくぼみの下にゴルフボールを合わせて置き、スタンドとして使用します。



6 マグネットクリップを取り外すときは、マグネットクリップをデバイスからやさしく引き離します。

デバイスを充電する

⚠警告

本製品はリチウムイオンバッテリーを内蔵しています。リチウムイオンバッテリーを安全にご使用いただくために、同梱の「安全および製品に関する警告と注意事項」に記載される内容を必ずお読みください。

デバイスには磁石が使われています。磁石は、特定の状況下で、ペースメーカーやインスリンポンプなどの体内埋め込み型医療機器に影響を及ぼす可能性があります。医療機器には近づけないでください。

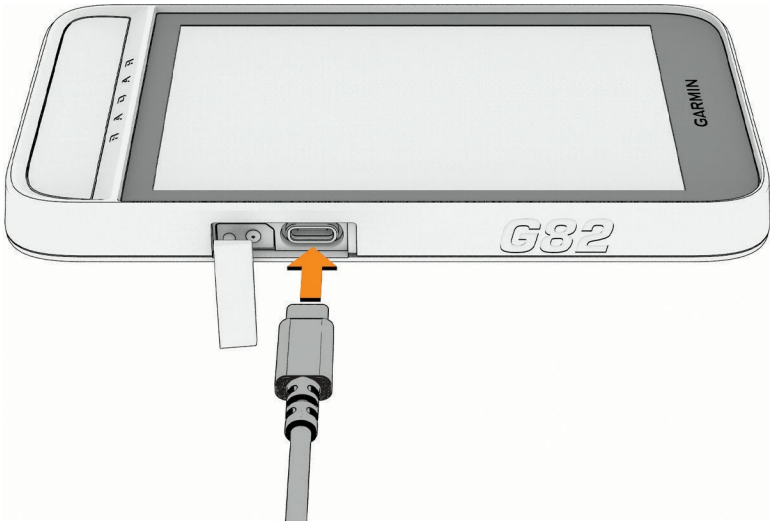
注意

さびや腐食を防ぐため、充電または PC への接続を行う前に USB ポートや防水カバーに付着した水分はよく拭き取ってください。

デバイスには磁石が使われています。特定の状況下で、磁石はノートパソコンのハードディスクなどの電子機器に影響を及ぼす可能性があります。デバイスを電子機器の近くで使用する場合は注意してください。

このデバイスは、内蔵のリチウムイオンバッテリーで動作します。内蔵リチウムイオンバッテリーは、家庭用コンセントまたは PC の USB ポートから充電することができます。別売のアクセサリーや交換用パーツについては、*Garmin.co.jp* の製品のページをご確認いただくか、Garmin の正規取扱店にお問い合わせください。

1 USB ポートの防水カバーを外します。
2 USB ケーブルを、デバイスの USB ポートに接続します。



3 USB ケーブルのもう一方の端子を、PC などの充電可能な USB ポートまたは AC アダプター（出力電圧 5V 以上）に接続します。
4 必要な場合は、AC アダプターを家庭用コンセントに差し込みます。
デバイスを外部電源に接続すると、デバイスの電源がオンになります。
5 充電が完了するまで待ちます。

充電後は防水カバーを閉じてください。

お取り扱い上の注意事項

注意
高温になるおそれがある場所でデバイスを長期間保管しないでください。デバイスの故障の原因となる可能性があります。
タッチスクリーンを傷付けるおそれがありますので、タッチスクリーンの操作に硬いものや先のとがったものを使用しないでください。
化学洗剤や溶剤、日焼け止め、防虫剤はデバイスのプラスチック部や塗装を傷めるおそれがあるため使用しないでください。
USB ポートの損傷を防ぐため、防水カバーはしっかりと閉じてください。
製品寿命を縮めるおそれがありますので、机や床等に落とすなどの強い衝撃を与えないでください。

デバイスのクリーニング方法

1 薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で、デバイスを優しく拭き取ります。
2 乾いた布で水分を拭き取ります。

クリーニング後は、デバイスを完全に乾かしてください。

USB ポートのクリーニング方法

1 デバイスの電源をオフにし、電源との接続を切ります。
2 清潔で柔らかいリントフリークロスや綿棒で USB ポートをクリーニングします。
注意：イソプロピルアルコールを使用する場合は、クロスや綿棒を軽く湿らせる程度に使用してください。
3 デバイスを完全に乾かしてから電源に接続してください。

長期間の保管

デバイスを数か月間使用しない場合は、バッテリー残量が 50%以上になるように充電してから、高温多湿の場所を避けて保管してください。長期保管後は、デバイスを使用する前にバッテリーを完全に充電してください。

バックライトを使用する

- 画面を**タップ**するとバックライトが点灯します。
注意：バックライトは、アラートやメッセージ表示時にも点灯します。

- バックライトの点灯時間や輝度を変更できます。(*23 ページ　バックライト設定*)

仕様

バッテリータイプ	充電式リチウムイオンバッテリー	
バッテリー稼働時間	GPS モード	約 25 時間 **注意**：満充電時の実際のバッテリー稼働時間は、GPS の使用状況によって異なります。気温が極端に低い場所で使用すると、バッテリーを多く消費します。
	スイング計測モード	約 8 時間
防水性能	IEC 60529 IPX7 *	
動作・保管温度範囲	-20 ～ 60°C	
充電温度範囲	0 ～ 45°C	
比吸収率(EU SAR)	0.33 W/kg(四肢)、0.33 W/kg(胴体)	

* 水深 1m で最長 30 分間の偶発的な浸水に耐えられます。防水性能について、詳しくは *Garmin.com/waterrating* をご参照ください。

電子ラベルの規制および準拠情報を確認する

デバイスのラベルを電子的に確認できます。e ラベルでは、FCC または地域のラベル規制によって提供される識別番号などの規制情報、該当する製品およびライセンス情報が表示されます。

1. ⚙ を選択します。
2. **[システム]** を選択します。
3. **[バージョン情報]** を選択します。

製品のアップデート

デバイスをより快適にご利用いただくために、デバイスのソフトウェアは常に最新の状態にアップデートしてください。PC をご使用の場合は、Garmin Express(*Garmin.com/express*)をインストールします。スマートフォンをご使用の場合は Garmin Golf アプリをインストールします。

次のサービスをご利用いただけます。

- ソフトウェアアップデート
- 地図データのアップデート
- コースデータのアップデート
- Garmin Golf へのデータアップロード
- 製品の登録

Garmin Golf アプリでソフトウェアをアップデートする

デバイスをスマートフォンとペアリングすると、Garmin Golf アプリを経由してデバイスに更新ソフトウェアをダウンロードできます。(*19 ページ　スマートフォンとペアリングする*)

デバイスと Garmin Golf アプリを同期します。(*20 ページ　ペアリング済みのスマートフォンと接続する*)

ヒント：Wi-Fi 経由で手動同期することもできます。⚙ > **[システム]** > **[ワイヤレス接続]** > **[Wi-Fi]** > **[Wi-Fi 同期]** の順に選択してください。

利用可能な更新ソフトウェアがある場合、デバイスに自動で送信されます。

デバイスを PC に接続する

注意

さびや腐食を防ぐため、充電または PC への接続を行う前に USB ポートや防水カバーに付着した水分はよく拭き取ってください。

1. USB ポートの防水カバーを外します。
2. USB ケーブルの一方の端子をデバイスの USB ポートに差し込みます。
3. USB ケーブルのもう一方の端子を PC の USB ポートに差し込みます。

   デバイスは、Windows® ではリムーバブルドライブとして認識されます。

   Mac® のオペレーティングシステムは MTP ファイル転送モードのサポートに制限があるため、Mac コンピューターでデバイスにアクセスするときは Garmin Express アプリケーションを使用してください。

Garmin Express をセットアップする

1. 付属の USB ケーブルでデバイスを PC に接続します。
2. *Garmin.com/express* にアクセスします。
3. Garmin Express をダウンロードし、PC にインストールします。
4. Garmin Express を起動し、**[デバイスの追加]** を選択します。
5. 画面に表示される指示に従って操作します。

Garmin Express でソフトウェアをアップデートする

あらかじめ Garmin Express を PC にインストールし、デバイスを登録する必要があります。(*29 ページ　Garmin Express をセットアップする*)

1. 付属の USB ケーブルでデバイスを PC に接続します。
   利用可能な更新ソフトウェアがある場合、Garmin Express からデバイスに更新データが送信されます。
2. Garmin Express からデバイスへの更新データの送信が完了したら、デバイスを PC から取り外します。
   デバイスに更新がインストールされます。

デバイスに関するその他の情報

デバイスに関する最新・補足情報は、Garmin のウェブサイト(*Garmin.co.jp*)をご参照ください。

- サポートセンター　*support.Garmin.com/ja-JP/*
- 別売のアクセサリーまたはパーツの購入については、*Garmin.co.jp* にアクセスするか Garmin の正規取扱店にお問い合わせください。

トラブルシューティング

現在地に近いゴルフコースが表示されません

ゴルフコースのアップデートが中断またはキャンセルされた場合に、コースデータが正常にインストールされていない可能性があります。コースデータを正常に戻すには、コースデータをもう一度アップデートする必要があります。

1. Garmin Express からコースデータをインストールします。(*29 ページ　Garmin Express でソフトウェアをアップデートする*)
2. デバイスを安全に取り外します。
3. 上空の開けた屋外でテストのラウンドを開始して、現在地に近いコースが表示されるか確認してください。

デバイスとスマートフォンが接続できません

ペアリング済みのスマートフォンと接続できなくなった場合は、次の方法をお試しください。

- デバイスとスマートフォンの電源をオフにしてから、再度電源をオンにしてください。
- スマートフォンの Bluetooth 接続をオンに設定してください。
- Garmin Golf アプリを最新のバージョンにアップデートしてください。
- Garmin Golf アプリとスマートフォンの Bluetooth 設定からデバイスを削除して、再度ペアリングしてください。
- 新しいスマートフォンを購入した場合は、古いスマートフォンの Garmin Golf アプリからデバイスを削除してください。
- スマートフォンがデバイスの 10m(33ft)以内にあることをお確かめください。
- スマートフォンをペアリングモードにするには、Garmin Golf アプリを開き、アプリで **[プロフィール]** > **[マイデバイス]** > **[デバイス追加]** の順に選択します。
- デバイスをペアリングモードにするには、⚙ > **[システム]** > **[ワイヤレス接続]** > **[スマートフォン]** > **[ペアリング]** の順に選択します。

日本語で表示されません

デバイスの言語を誤って設定してしまった場合は、次の手順に従って言語設定を変更してください。

1. ホーム画面で ⚙ を押します。
2. メニューの一番下の項目を選択します。
3. メニューの 2 番目の項目を選択します。
4. **[日本語]** を選択します。

単位が正しくありません

- デバイスの単位設定を確認してください。(*23 ページ　表示単位を変更する*)
- Garmin Golf アプリで単位の表示設定を確認してください。
  デバイスで設定した単位と Garmin アカウントで設定した単位が異なる場合は、データを同期したときにデバイスの設定が Garmin アカウントの設定で上書きされます。

デバイスを再起動する

デバイスがフリーズするなどして応答しない場合は、次の手順でデバイスを再起動してください。

1. デバイスの電源が切れるまで、● を長押しします。
2. 再度 ● を長押ししてデバイスの電源を入れます。

設定をリセットする

リセットを実行する前に、Garmin Golf アプリに同期してスコアカードをアップロードしてください。デバイスの設定を工場出荷状態にリセットします。

1. ⚙ > **[システム]** > **[リセット]** の順に選択します。
2. 次のオプションを選択します。
   - **[すべての設定をリセット]**　デバイスの全設定を工場出荷状態にリセットします。(ユーザー情報とスコアカードは保持されます。)

・**[すべて削除]** デバイスの全設定を工場出荷状態にリセットし、すべてのユーザー情報とスコアカードを削除します。

3 **[はい]** を選択します。

衛星信号を受信する

デバイスで衛星信号を受信するには、上空の開けた屋外に出る必要があります。GPS の位置情報に基づいて、日付と時刻が自動で設定されます。

ヒント：GPS について詳しくは *Garmin.com/aboutGPS* をご参照ください。

1 上空の開けた屋外に出ます。
デバイスの表面を空に向けてください。

2 上空の開けた場所で静止して GPS の受信を完了します。
通常、30 ～ 60 秒で受信が完了します。

GPS 衛星受信を向上する

- デバイスを定期的に Garmin Connect アカウントに同期してください。
  - USB ケーブルでデバイスを PC に接続して、Garmin Express で同期します。
  - デバイスとスマートフォンを Bluetooth 接続して、Garmin Golf アプリで同期します。
  - デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続して、Garmin Connect アカウントと同期します。

  Garmin Connect アカウントに接続すると、数日分の衛星軌道情報が自動でデバイスにダウンロードされるため、素早い GPS の受信が可能になります。
- 屋外に出て、周囲にビルや森林のない開けた場所に移動してください。
- 衛星信号の受信完了後、2 ～ 3 分間静止してください。

デモモードを終了する

デモモードでは、デバイスの各種機能のプレビュー画面が表示されます。次の手順でデモモードを終了できます。

を押してデバイスを再起動します。

商標について

本操作マニュアルの内容の一部または全部を Garmin の書面による承諾なしに転載または複製することはできません。本操作マニュアルの内容ならびに製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。製品に関する最新・補足情報については、*Garmin.co.jp* にアクセスしてください。

Garmin, Garmin ロゴ , Approach は、米国またはその他の国における Garmin Ltd. またはその子会社の登録商標です。Garmin Connect, Garmin Express, Garmin Golf は、Garmin Ltd. またはその子会社の商標です。Garmin の許可を得ずに使用することはできません。

BLUETOOTH® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Garmin はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。Mac® は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance Corporation の登録商標です。Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

M/N: A04873

February 2026